

『バシエ』訳註 (2) —忿怒する魔鬼—

津 曲 真 一

はじめに

本研究は8世紀に古代チベット(吐蕃)王国を統治したティソン・デツェン[khri srong lde ('u) btsan]王時代の王室の様子を記録したと伝えられる史書『バシエ』[sba bzched, dba' bzched]について数回に分けて訳註を試みるものである。同史書の特徴及び研究方法については、既に発表した拙稿『『バシエ』訳註(1)』—マシャン・ドムパキエの失脚—(『四天王寺大学紀要』第50号, 429-462頁)を参照されたい。

本稿ではR. A. スタンによる校訂本(R. A. Stein <ed.>, *Une chronique ancienne de bSam-Yas: sBa-bzed, edition du texte tibétain et résumé française*, Paris: Bibliotheque de l'Institut des Hautes Etudes chinoises, Textes et Documents. 1961. 以下, *Bzh A*とする)を底本とし、ジンパ・ギャムツォによる校訂本(sbyin pa rgya mtsho <ed.>, *btsan po khri srong lde btsan dang mkhan po bo dhi sa twa slob dpon padma'i dus mdo sngags so sor mdzad pa'i sba bzched zhabs btags ma*, Delhi: bod gzhung sehs rig dpar khang <Sherig Parkhang, Tibetan Cultural & Religious Publication Centre>, 1996 <1968>. 以下, *Bzh B*とする)を随時参照しながら訳註作業を進める。そしてチベットで新たに発見されたとされる『バシエ』の英訳研究(Pasang Wangdu and Hildegard Diemberger, *Dbā bzched : the royal narrative concerning the bringing of the Buddha's doctrine to Tibet*, Verlag der Osterreichischen Akademie der Wissenschaften, 2000. 以下, *Bzh C*とする)についても必要に応じて参照する。また末尾に本稿で訳出した箇所の校訂テキストを付す。

凡 例

- 1 チベット語のローマナイズは拡張ワイリー方式に基づき, [] 内に示した。
- 2 訳文における節題, 改行, 「 」, ‘ ’, “ ”等の括弧は, すべて訳者による補足・強調である。
- 3 [] 内の記号・数字はテキストの頁番号・行番号を示す。(例: [Bzh A:15.3] = Bzh Aの15頁3行目。)
- 3 【 】内に記した略号・数字は, 『バシエ』の頁番号を意味する。(例: 【A5】 = 以下はBzh Aの5ページの訳註である)。
- 4 訳文は極力原文に忠実な翻訳を心がけるとともに, 日本語として読みやすいものにするために必要に応じて [] によって訳文を補った。こうした訳文の補足には当該の文に対する筆者の解釈が反映されていると理解されたい。

1. 『バシエ』訳註 [Bzh A:15.3-18.13, Bzh B:16.14-20.14]

1.1 破仏の記憶 [Bzh A:15.3-16.3, Bzh B:16.14-17.16]

[シャン・マシャン・ドムパキエが失脚した後、] 王と大臣が集まった時に、シャン・ニヤサン [zhang nya bzang] が [王に対し、次のように] 申し上げた。「父祖ソンツェン [=ガムボ王] が神法 [lha chos] を実践なさったのは善であり、神の御子息 [である] 父上 [=ティデ・ツクツェン] も良き神法を実践なさった [。しかし、その] あとで、シャン・マシャン [=ドムパキエ] によって [神法は] 破壊された。中国の神 [像である] 釈迦牟尼は、以前は騎手の膝 [の上] に [乗って] いらっしやうた。[しかし] 後に中国へ運んだところ、1,000人で [引っ張って] も [なかなか] お進みにならなかった。マンユルに運ぶことが決まり、二頭のラバに載せて運ぶことができた。[その後、] 中国の神 [像] を再び下に [=こちらに] お招きして供養した。[仏] 法を破壊した三人の尚論¹⁾ も無惨に死亡した。そのような [こと] を上下のト者 [phyag sprin] [の意見] や凶兆 [Itas ngan] と合わせ [て考え] れば、中国の神 [像] が怒って、政治に過失をもたらしたと [B17] 理解する [べきである]。嘗て [仏] 法を実践なさった祖父や父のように [貴方も仏法を実践] なされれば善いようである。」と申し上げたところ、王子は「シャン [=ニヤサン] が言ったことは正しい。私もそう思う。全ての尚論 [zhang blon] も話し合うべきである。」と仰った。

その後、王 [rje] と多くの大臣 [たち] が集まり、王をして [次のような] 御言葉をいわせた。「私の祖父と父が実践なさった神法はシャン [=マシャン] によって破壊された。中国の神 [像] も再び下方へ [=こちらに] 招かれた。私自身も [仏] 法を実践すべきであろうか。」と仰ったので、[仏] 法を為すべきであると同意的に。さらに、[仏] 法を行うにあたって、隣国から来る人で [仏法を修めた] 経歴を有する者は誰がいるかと [いうことを] 話し合い²⁾、[王は³⁾ マンユル [mang yul]⁴⁾ からバラム・ラク [ba lam klag]⁵⁾ に [戻って] き [てい] たバ・セー

1) [zhang blon chos snub pa gsum] [Bzh A:15.7-8, Bzh B:16.19-20]。マシャン・ドムパキエ [ma zhang brom pa skyes]、ナナム・ティトジェ・タンラバル [sna nam thog rje thang la 'bar]、チョクロ・キエーサン・ギャルゴン [cog ro skyes bzang rgyal 'gong] の三者を指すとも考えられるが仔細不明。拙稿「バシエ訳註 (1) —マシャン・ドムパキエの失脚—」(『四天王寺大学紀要』平成22年度50号) 450頁、註121・123参照。

2) [KhG:314.4-5] では「インドとネパールの戒師のなかで [仏] 法に熟知した経歴を有する者は誰がいるか言う [=挙げる] べきであると話し合っ」[rgya gar dang bal po'i mkhan po las chos mkhas pa'i lo rgyus can su yod dam smra dgos so zhes glengs pa dang] とする。

3) [KhG:314.6] の記述 [rje'i zhal nas] によって訳文を補う。

4) [mang yul] [Bzh A:15.14, Bzh B:17.8]。現在のチベット自治区・ガリ (阿里) [mnga' ris] 地方のブレン (普蘭) [spu hreng] 県からツァン (藏) [gtsang] 地方のンガムリン (昂仁) 県と吉隆 (キロン) 県一帯と、ネパール・カトマンドゥ盆地の北方に位置するトリスリ (Trisuli) の間に位置する地域の古名。『バシエ』には、バ・セーナンは王によってマンユルの地方官に任命されたという記述が見える。拙稿・前掲論文「バシエ訳註 (1)」452頁、及び註125参照。

5) [ba lam rlags] [Bzh A:8.16, Bzh B:9.19]。[ba lam glag] [KhG:305.8, 314.6, PCh:184.12]。バラム [ba lam] のラク [glag] という地名であり、セーナンの故郷を指すと推測される。拙稿・前掲論文「バシエ訳註 (1)」註128参照。

ナン [sba gsal snang] を、王 [rje] の御前に呼べと言った。その後、[バ・] セーナンは王 [rje] の御前にやってきた。そして、その者 [=バ・セーナン] に対し、シャン・ニヤサン [zhang nya bzung] という者が詳しく [王の] 御言葉を授けた後、「インドとネパールに賢者は誰が居るか[教えなさい]。[そして、その者をチベットに]招聘をせよ」と言った。それ聞いて、[バ・] セーナンは [次のように] 申し上げた。「以前はサホル [za hor]⁶⁾ 【A16】 に居て、現在はネパールに [居る]、経典に精通したサホル王の子 [にして] 比丘であるシャーンタラクシタ [shAn ta takShi ta] という者が居ります。」と申し上げると、王 [rje] は「汝は国に行くことなく [=バラム・ラクに戻ることなく] その者を招聘するべきであるので、[今からネパールに向かい、] ネパール王 [bal rje] に私の詔書を入れたこの小箱⁷⁾ を呈上し、その賢者を招聘せよ」という御言葉を授けた [=命令した]。

1.2 シャーンタラクシタの入蔵 [Bzh A:16.3-15, Bzh B:17.16-18.13]

[バ・] セーナンはネパールに行った後、ネパール王に使者を送った。そして [ネパール王と] 謁見し、贊普の詔書を入れた小箱を [ネパール王に] 呈上した後、阿闍梨 [a tsar+ya] を招聘することが決まった⁸⁾。[その後、マンユルに到着した。そこでバ・セーナンは使者を送って、] 阿闍梨はマンユルに居ると報告したところ、内務大臣 [である] ランド・ナンラ⁹⁾ とニエル・タクツェン・ドンシー [snyer btag btsan ldong gzigs] とダン・ギャラレクシー [brang rgya ra legs gzigs] の三人¹⁰⁾ がマンユルに戒師 [=シャーンタラクシタ] を迎えに行き、その後、ト

-
- 6) [za hor] [Bzh A:15.16, Bzh B:17.12]。サホルは現在の北インド、ヒマーチャル・プラデーシュ州のマンディ (Mandi) 付近に存在したとされる古代王国。『バシエ』によれば、サンシ [sang shi] が唐を訪問した際、キム和尚が「サホル王の子であるシャーンタラクシタという比丘」によってチベットに法がもたらされるだろう予言を伝えたとされる。拙稿・前掲論文「バシエ訳註 (1)」446頁、註99参照。
- 7) [bka' sgtrom] [Bzh A:16.3, Bzh B:17.15]。後に [bka' sgtrom bu] [Bzh A:16.4, Bzh B:17.18] という表現も見える。
- 8) [KhG:314.14-15] は「両者 [=バ・セーナンとネパール王] が戒師 [=シャーンタラクシタ] にチベット国へいらっしゃるようお願い申し上げたところ、[シャーンタラクシタはチベットへ行くことを] お許しになった。その後、ネパール人の通訳を従僕として連れて [マンユルに] 到った。」[gnyi gas mkhan po bod yul du gshegs par zhus pas ngang nas bal po'i lo tsA ba zham ring du khrid de byon] としており、シャーンタラクシタがチベットへ向かう際、ネパール人の通訳が同行していたとしている。
- 9) [khor lang 'gro snang ra] [Bzh A:16.5, Bzh B:17.19], [nang 'khor ba lang 'gro snang ra] [KhG:314.17]。後者の意に解した。[nang 'khor ba] は当時、主にチベット国内の政務に従事していた大臣の職位を指すと思われる。ランド [lang gro] はツァン地方 [gtsang] の右翼 [g.yas ru] の地名及びその土地出身の氏族であり、『王遺教』[rgyal po bka'i thang yig, in: bka' thang sde lnga, mi rigs dpe skrung khang] ([歐堅朗巴掘自雅隆石窟, 多吉杰博整理『五部遺教』民族出版社, 1990 [1986], p.185) によれば「右翼の16の村落」[g.yas ru'i yul sde bcu drug] の一つに数えられる。尚、この氏族からはパドマサンバヴァの25人の高弟の一人であるランド・クンチョクジュンネー [lang gro dkon mchog 'byung gnas] が生まれたことでも知られる。
- 10) [KhG:314.17-18] は [nang 'khor ba lang gro snang ra], [gnyer stag btsan gdong gzigs], [sbrang rgyas legs gzigs] の三者とする。[Bzh C:7a] では [nang 'khor lang gro snang ra] の名のみを挙げる。

ンカン・ベハル [ston khang dpe har]¹¹⁾ においでになった¹²⁾。

[そして,] 【B18】 ランド・ナンラと阿闍梨 [=シャーントラクシタ] をそこに留めた。

その後, [バ・セーナンは] 宮殿で王に表敬訪問を行って, [阿闍梨が王に] ご挨拶する時期ではないことをバ・セーナンは知った。尚論たち¹³⁾ は「[シャーントラクシタが,] 南ネパール¹⁴⁾ 人の邪悪な呪語 [ngan sngas] やタメンのバク¹⁵⁾ を為すのか為さぬのか, それを調べる人を送れ」と言った。[そこで,] サンシ [sang shi] とセンゴ・ラルンシー [seng 'go lha lung gizgs] とチム・メラ [mchims me lha] の三人¹⁶⁾ が派遣されたが, [彼らは] 阿闍梨の言葉が理解できなかった。[そこで,] ダルツァク・ゴンセク¹⁷⁾ の市場に [居た] カシミール人のケルサン [kha che skyes bzang] の子で, アーナタ [a nan ta] [という] 通訳を学んで習得した後, 商売をしていた者に通訳を任せた。そして [アーナタに, その] 阿闍梨は如何かと尋ねたところ, [アーナタは, この阿闍梨は] あらゆる善き行為については為すべきでないことはなく [=あらゆる善き行為を為し], あらゆる過ちについては放じないことがなく [=あらゆる過ちを放じ], 神と三宝を供養し, 主として有情に役立つことをすべきであると言っている [と通訳した]。それを王に申し上げた後, [王は, 阿闍梨は] 高貴な行為を説いており, 疑惑もたれる必要はないとしたことにより, [王は] 「宮殿にお招きし, 私 [から] ご挨拶を申し上げます。[そして] 私が [シャーントラクシタの] 能力を調べる。」と仰った。

1.3 王との“再会” [Bzh A:16.15-17.9, Bzh B:18.13-19.6]

使者が「阿闍梨が門 [=入り口] に到着した」と申し上げたので, [王が] 一掴みの金 [gser khyor gang] の礼品を差し上げて礼拝をすると, 阿闍梨は「王は小生をご存じない【A17】のか」と仰った。[王が]「阿闍梨とは今までお会いしたことがない」と仰ると, それに対し [阿闍梨は]

11) [ston khang dpe har] [Bzh A:16.6-7] [Bzh B:17.21]。[KhG:314.19]では[hen khang bi har]。[dpe har]及び[bi har]はVihāraの音写とも推測できるが仔細不明。拙稿・前掲論文「バシエ訳註(1)」註118参照。

12) [KhG:314.19-20]によれば, 王はこの時彼ら三人に「汝達三人はリムドを為した上でヘンカン・ベハルにお出ましになられよ」[khyed gsum gyis rim gro gyis la hen khang bi har du phyags phob cig]と命令したとされる。

13) [zhang blon dag] [Bzh A:16.8, Bzh B:18.3]。[Bzh C:7b]ではこの懸念を抱いたのは王であったとしている。

14) [lho bal] [Bzh A:16.8, Bzh B:18.3]。南ヒマラヤ地域に居住していた人々, 或いは辺境に住む蛮族を指すと思われる。R.A.スタンに依れば, 中国の文献において[lho bal]という語は, しばしば蛮族(barbarians)を含意するとされる(Stein, R. A., *Tibetica Antiqua I. Les deux vocabulaires des traductions indo-tibétaine et sino-tibétaine dans les manuscrits de Touen-houang*, p.164)。

15) [phra men gyi bag] [Bzh A:16.9, Bzh B:18.4], [phra men gyi dag] [KhG:314.23]。[phra men]は人に害を与える鬼神を意味することから何らかの呪術的な儀礼を指すと推測されるが詳細不明。[KhG:315.8-9]には「[シャーントラクシタは] あらゆる悪しき威儀と他者を害するバクを為さない」[spyod lam nyes so cog dang gzhan la gnod pa'i bag mi bgyid]という記述も見える。

16) [Bzh C:7b]では[zhang blon chen po sbrang rgyal sbra legs gzigs], [seng 'go lha lung gizgs], [ba' sang shi]の三者とする。

17) [dar tshag sgong gseg] [Bzh A:16.10, Bzh B:18.6], [dar chags sgo gseb] [KhG:315.2]。不明。

「嘗て迦葉仏 [sangs rgyas 'od srung] の教説 [=迦葉仏が教えを説いていた時代] に、経堂 [gtsug lag khang] の装飾と保護の [仕事をしていた] 三人の子供が [いた。彼らは] 砂の仏塔を造り、“将来に、私は学者 [paNDi ta] となり、汝は辺地¹⁸⁾ の王となり、[バ・] セーナンは使者¹⁹⁾ となって、辺地の王国で正法を弘めますようにと祈願をした [。王はその] ことをお忘れになられたのか。」²⁰⁾ と仰ったが、王は「それ以後、まだ瞑想 [の実践を行った] の期間が短いので思い出せない」【B19】と返事した。[そして王が] 阿闍梨に「よくよく検討したのか」と申し上げると、[阿闍梨は]「王よ、汝の頭にターバンをお召しになっていることと合わせ [て考え] れば、上方の帽子ほどの領地、[更に] おみ足に靴を履いていることにより、下方の靴程度の領地において [王] 法が成立する。[しかし] お身体にベルトをしていないことと合わせ [て考え] れば、この中間の地においては、王の法はすぐに破壊する危険がある。しかし、宝の贈り物を呈上することにより、正法を為すことができる [ようになる]。」と仰った。

1.4 魔鬼の怒り [Bzh A:17.9-18.13, Bzh B:19.6-20.14]

その後、ルンツプ宮殿 [pho brang rlung 'tshubs] で、カシミールのアーナンタ [kha che a nan ta] が通訳をして、4ヶ月間、十善 [dge ba bcu] と十八界 [khams bco brgyad] と十二支縁起 [rten 'brel bcu gnyis] の法を説いたところ、全ての黒い魔鬼 [dre srin nag po] が [それを] 嫌い、パ

18) [mtha' khob] [Bzh A:17.3], [mtha' 'khob] [Bzh B:18.19, KhG:315.17]。仏陀の教説・経典が未だ広まっていない地域。

19) [bang chen] [Bzh A:17.3, Bzh B:18.19]。[KhG:315.16-17] は [pho nya] とする。

20) この三人の少年の逸話は広く知られているが、ボン教徒の間には仏教徒のそれとは異なったものが伝えられている。例えばシャルザ・タシギェルツェン [shar rdza bkra shis rgyal mtshan, 1859-1934] は自著『善説蔵』([LDZ] shar rdza bkra shis rgyal mtshan, rdo rje rgyal po (ed.), legs bshad rin po bhe'i gter mdzod, mi rigs dpe skrun khang, 1985) の中でボン教の史書『シーギュー』の次のような記述を引用している。「…昔、インドのある王国に三人の乞食がいた。彼らは物乞いをして貰った物を集め、いつか仏塔を建てたいという善良な考えを持っていた。しかし、この願いは実現することなく、いつしか彼らは年老いた。彼らは死ぬ間際に祈願をたてた。一人はこの仏塔の建設を任命する者に生まれ変わりたいと願った。一人は仏塔建設の施主に生まれ変わりたいと願った。一人は仏塔を建設する大工に生まれ変わりたいと願った。彼らの願いは叶い、三人はインドで願った通りの生を受けた。しかしその生においても仏塔は完成しなかったので、三人は死ぬ間際に再び願いをかけた。かつて施主に生まれ変わりたいと願った者は、今度はガリ王国を支配する王に生まれ変わりたいと願った。かつて仏塔の建設を任命する者に生まれ変わりたいと願った者は、今度はチベットで法を説く仏教徒として生まれ変わりたいと願った。仏塔の大工はチベットでボンを沈める翻訳官の一人に生まれ変わりたいと願った。彼らの願いは叶い、かつての施主はティソン・デツェンとして生まれ、かつての大工はボデイサットヴァ [=シャーンタラクシタ] として生まれ、かつての仏塔の建設任命者はパドマサンバヴァとして生まれた。即ち、ティソン・デツェンは王子、パドマサンバヴァは神変の子息 [rdzu 'phrul sras], ボーデイサッタは下僕の子供として生まれたのである。こうして [ボーデイサッタは], 死ぬ間際にボン教を沈めるという祈願をたてたため、その罪過により劣った族に生まれたのである。」[LDZ: 203.16-204.15]

ンタン宮殿²¹⁾ は水で運ばれ [=洪水で流され], ラサ [の] マルポリ [lha sa dmar po ri] に雷が落ち, 人の病 [mi nad] や [家畜の疫病や²²⁾] 凶作 [lo nyes] が起きた [。それらの] ことは, 「贊普が [仏] 法を為したことによる報いである。阿闍梨 [=シャーンタラクシタ] を追放せよ。」と言って, チベットの人民さえも反撥し²³⁾, 正法を為すことが許されなかった。

屋上²⁴⁾ に [設けられた] 白い絹の帳幕 [の中] で瞑想をしていた阿闍梨 [のため] に, 王は狼の毛皮 [でできた布袋] から 1 テ²⁵⁾ の金粉を [取り出して] 運んだ後, バ・セーナンと, センゴ・ラルンシー [seng 'go lha lung gzig] と, シャン・ニヤサン [zhang nya bzang] と, バー・サンシ ['ba' sang shi] と, ニエル・タクツェン・ドンシー [snyer stag btsan ldong gzigs] と [いう, 合計で] 5 人を引き連れて, 絹の天幕 [の中] にお座りになっていた阿闍梨の回りをまわり, 礼拝をしたのち, そうした金銀を三晩 [に渡って阿闍梨に] 差し上げた。

その後, [王は次のように行った。] 「私は福分に恵まれていない。[何故なら] 【A18】 チベット全体が黒いもの [nag po] を好む時代に生まれた [のであり, それに逆らうことは難しい²⁶⁾]。方法を誤れば神法が成立することはないということをご理解下さい。阿闍梨は再びインドへお行きになられよ。私は全ての尚論を巧みに欺き, 賄賂を与え [る。そし] て, [仏] 法を為さないことは適切でないと話し合っただうえで, 私が [仏] 法を為すことができ [るようになった] たらすぐに, [再び貴方を] お招きにあげります²⁷⁾。」と申し上げた。阿闍梨は, 「嘗て [汝の] 父祖の治世に, 凶悪な神・龍たちが誓約のもとに入らず, チベットに [住する仏] 法を好まない凶悪な夜叉が凶兆 [をもたらし。] それにより王の御寿命が短くなったのである。だから今後は神法を為す必要があり, 神・龍を誓約の下に [入れて] 取り除く必要がある。ウルギェン [u rgyan] の国に比丘 [である] パドマサンバヴァ [pad+ma saM bha wa] という [魔] 力 [mthu] を持つ者がいる。[南瞻部洲において, 密咒に通じたこの者よりも [魔] 力の強い者はいない²⁸⁾。] その者を招聘し, 魔力と神変 [rdzu 'phrul] を競う [ことはパドマサンバヴァに任せ,

21) [pho brang 'phang thang] [Bzh A:17.11, Bzh B:19.9]。['phang thang] は, 今日中国チベット自治区・乃東県・頗章郷付近に比定される。『賢者喜宴』では, ティア・ツクツェンはこの地にパンタン宮殿 [pho brang 'phang thang] を建て [KhG:293.20-21], この宮殿に金城公主を招いた [KhG:296.7-8] としている。

22) [KhG:316.5] の記述 [phyugs nad] により訳文を補う。

23) [bod 'bangs tsam kha log] [Bzh A:17.12-13, Bzh B:19.11-12]。[KhG:316.5-6] では「チベットの全ての人民たちが反撥して」[bod 'bangs thams cad kha log nas] とする。

24) [khang steng] [Bzh A:17.13, Bzh B:19.12]。[KhG:316.7] では「鼓楼 (太鼓を設置するための建物) の上」[mga khang steng] とする。

25) [bre] [Bzh A:17.14, Bzh B:19.14]。容量の単位で, およそ手のひら 4 杯分の量をさす。1 テの黄金はは約 13kg に相当するともされる。

26) [KhG:316.13] の記述 [de las ldog par dka'] により訳文を補う。

27) [KhG:316.14-15] では「…しばらくの間, 戒師 [=シャーンタラクシタ] は再びお発ちになり, ネパールに滞在なされよ。後で策を講じ, [仏法を行うことが] 可能になったらすぐにお招きに上がります。」[re zhig mkhan po slar bzhud la bal yul du bzhugs shig slad kyis thabs bgyis te btub ma thag tu spyan 'dren btang ngo] とする。

28) [KhG:316.22-23] の記述 [dzam+bu'i gling na sngags mkhan 'dis pas mthu che ba mi bzugs] により訳文を補う。

法において競う者が生じたら、因明 [は私] と競うのである。最後の500 [年期]²⁹⁾ に到ったことにより、チベットに外道は存在しない。」と仰った。そして、一握りの金粉をネパール王のために掴み、他 [=残りの金粉] は再び王自身に差し上げた。そして阿闍梨は追放されたかのように、上方へ [yar] お行きになられた。[その際、] センゴ・ラルンシー [seng 'go lha lung gzig] はそれまで肉を欲しないという戒 [sdom] を守っていたが、[それに加えて] 今後はバター [mar] を欲しないという戒を受けた [後]、阿闍梨をランナ・ドゥツク³⁰⁾ に連れて行った。[その後、] ランド・ナンラ [lang 'gro snang ra] と [バ・] セーナンは阿闍梨をネパールに連れて行き、再び宮殿に [戻って] 来た。

2. 校訂テキスト [Bzh A:15.3-18. 13, Bzh B:16.14-20.14]

[A15] [B16] rje blon tshogs pa'i dus su zhang nya bzang gis gsol ba³¹⁾/ mes srong btsan gyis lha chos mdzad pas legs/ lha sras yab kyis kyang lha chos bzang po mdzad pa'i 'og tu zhang ma zhang gis bshig /rgya'i lha shAkya mu ne sngon rta pa'i pang³²⁾ du theg pa/ phyis rgya yul du skyal bas mi stong gis kyang ma thegs/ mang yul du skyal bar chad pas dre'u³³⁾ gnyis kyis theg /rgya'i lha slar mar la spyang drangs la mchod/ zhang blon chos snub pa gsum kyang ma rung bar³⁴⁾ gum ste de 'dra/ bla 'og gi phyag sprin dang/ lta ngan dang sbyar na rgya lha khros te chab srid nongs par glo bar [B17] chud/ sngon yab mes chos mdzad pa lta mdzad na legs pa 'dra zhes gsol bas³⁵⁾/ rgyal bu na re zhang zer ba de bden/ nga'am³⁶⁾ de bsam zhang blon kun kyang gros bya gsungs/ slad kyi rje blon mang po tshogs nas rgyal po bka' stsol du bcug nas/ nga'i yab mes kyis lha chos mdzad pa zhang gis bshig pa de 'dra/ rgya lha yang slar mar spyang drangs/ nged rang yang chos byar la rung ngam gsungs pas/ chos bya bar 'chams³⁷⁾ nas/ da chos byed pa la mtha' nas 'ongs pa'i mi lo rgyus can su yod zhes glengs pa³⁸⁾ dang/ ba lam klag³⁹⁾ na sba gsal snang mang yul nas 'ongs pa rje'i spyang sngar bos mchi nas gsal snang rje'i spyang sngar mchis ste/ de la zhang nya bzang zer ba des zhib du bka' stsal nas/ rgya gar

29) [Inga brgya'i tha ma] [Bzh A:18.8-9, Bzh B:20.8]。仏陀の教説が存在する期間を5,000年とした場合の最後の500年を指し、仏陀の教説が形だけ残る時期。プトウン・リンチェンドゥブは「出家というしるし以外に真の見解と行を伴わないので、しるしだけを持つ期間 [rtags tsam 'dzin pa'i le'u] であり、これが最後の500 [年期] [Inga brgya mtha' ma] とされるものである」としている [PCh:136.4-5]。

30) [glang sna gru tshugs] [Bzh A:18.12, Bzh B:20.12, KhG:317.8]。国境付近の地名を指すと思われるが詳細不明。

31) [pa] [Bzh A:15.4], [ba] [Bzh B:ba]。

32) [dpang] [Bzh A:15.6], [pang] [Bzh B:16.17]。

33) [dri'u] [Bzh A:15.7], [dre'u] [Bzh B:16.18]。

34) [par] [Bzh A:15.8], [bar] [Bzh B:16.20]。

35) [pas] [Bzh A:15.10]。

36) [nga'am] [Bzh A:15.10], [nga'am] [Bzh B:17.2]。

37) ['cham] [Bzh A:15.13, Bzh B:17.6]。

38) [gleng pa] [Bzh A:15.14], [gleng ba] [Bzh B:17.8], [glengs pa] [KhG:314.5]。

39) [ba lam klag] [Bzh A:15.14], [pa lam klag] [Bzh B:17.8], [ba lam glag] [KhG:314.6]

dang bal yul na mkhas pa su yod/ spyang drongs shig par⁴⁰⁾ go bas gsal snang gis gsol ba⁴¹⁾ sngon ni za hor [A16] na mchis/ da lta bal yul na za hor rgyal po'i bu dge slong shAn⁴²⁾ ta rak+Shi ta bya ba gtsug lag la mkhas pa gcig mchis zhes gsol ba⁴³⁾ dang/ rje'i zhal nas khyod yul du ma 'gro bar der mi dgug tu⁴⁴⁾ mi rung bas⁴⁵⁾ bal rje la nga'i bka' sgron 'di phul la mkhas pa de spyang drongs shig par bka' stsal/ gsal snang bal yul du mchis nas/ bal rje la pho nya btang nas zhal mjal/ btsan po'i bka' sgron bu phul nas a tsar+ya spyang drangs par⁴⁶⁾ chad a tsar+ya mang yul na sdod do zhes snyan du gsol bas/ ' khor lang 'gro snang ra dang snyer btang btsan ldong gzigs dang/ 'brang rgya ra legs gzigs gsum mang yul du mkhan po bsur mchis nas/ ston khang dpe har du phyag [B18] phebs par mchi/ lang 'gro snang ra dang/ a tsar+ya der bzhag nas pho brang du rje la zhe sa phul bas/ phyag bya ba'i gtol ma mchis par gsal snang gnyer bcum/ zhang blon dag na re lho bal gyi mi ngan sngags dang/ phra men gyi bag bgyid mi bgyid/ de la rtog mi gtang mchi nas/ sang shi dang seng 'go lha lung gzigs dang/ mchims me lha gsum btang bas a tsa r+ya'i skad ma go /dar tshag sgong gseg gis tshong 'dus na/ kha che skyes bzang gi bu a nan ta lo ts+tsha ba slob 'phro la tshad pa byung nas/ tshong byed pa de la lo ts+tsha bcol nas/ a tsar+ya ci 'dra dris pas⁴⁷⁾ spyod pa legs so cog la mi bya ba med/ nyes so cog la mi btang ba med/ lha dkon mchog gsum mchod/ gtso bor sems can la phan pa bya zer nas mchi/ de rje la gsol nas spyod pa rgya chen po 'chad/ thugs 'phrig⁴⁸⁾ bzhes mi 'tshal byas pas/ pho brang du spyang drangs te nga phyag bya bar gsol/ ngas la nye brtag go gsungs/ pho nya bas⁴⁹⁾ a tsar+ya sgo na byon zhes gsol bas/ gser khyor⁵⁰⁾ gang gi phyag rten phul nas phyag byas pa dang / a tsar+ya'i zhal nas rgyal pos kho bo mi mkhyen [A17] nam gsungs/ a tsar+ya dang sngan⁵¹⁾ chad zhal ma mjal zhes bka' stsal ba⁵²⁾ la/ sngon sangs rgyas 'od srung gi bstan pa la gtsug lag khang gi rgyan srung gi⁵³⁾ byis pa gsum gyis bye ma'i mchod rten byas te/ ma 'ongs⁵⁴⁾ pa na ngas paN+Di ta⁵⁵⁾ bya ba/ khyed kyis

40) [par] [Bzh A:15.16], [bar] [Bzh B:17.11]。

41) [pa] [Bzh A:15.16], [ba] [Bzh B:17.12]。

42) [shan] [Bzh A:16.1], [shAn] [Bzh B:17.13]。

43) [pa] [Bzh A:16.2], [ba] [Bzh B:17.14]。

44) [du] [Bzh A:16.2], [tu] [Bzh B:17.15, KhG:314.10]。

45) [pas] [Bzh A:16.2], [bas] [Bzh B:17.15]。

46) [bar] [Bzh A:16.4]。

47) [Bzh B:18.8] ではシエー [shad] を欠く。

48) ['khrig] [Bzh A:16.14, Bzh B:18.11]。['phrig] [KhG:315.10]。

49) [bas] [Bzh A:16.15], [pas] [Bzh B:18.13]。

50) [khyo] [Bzh A:16.16], [khyor] [Bzh B:18.14]。

51) [sngan] [Bzh A:17.1, Bzh B:18.15]。

52) [ba] [Bzh A:17.1], [pa] [Bzh B:18.16]。

53) [kyi] [Bzh A:17.2], [gi] [Bzh B:18.17]。

54) ['ong] [Bzh A:17.2], ['ongs] [Bzh B:18.18]。

55) [paN di ta] [Bzh A:17.3], [paN+Di ta] [Bzh B:18.18], [paN+Dita] [KhG:315.16]。

mtha' 'khob⁵⁶⁾ kyi rgyal po bya ba/ gsal snang gi bang chen byas la mtha' 'khob⁵⁷⁾ kyi rgyal khams su/ dam pa'i chos dar bar bya bar smon lam btab pa de bsnyel⁵⁸⁾ lam gsungs pas/ rgyal pos zhal nas de man⁵⁹⁾ sgom yun thung bas ma dran⁶⁰⁾ [B19] ces lan btab/ a tsar+ya la nye brtags sam⁶¹⁾ zhus pas/ rgyal po khyod kyi dbu la la thod gsol ba dang sbyar na/ stod du mnga' ris⁶²⁾ zhwa tsam pa dang/ zhabs la lham gsol bas/ smad du mnga' ris lham tsam gcig la khirms chags/ sku la ske rags ma bcings pa dang sbyar na bar khams 'dir rgyal po'i khirms myur du 'jig nyen yod/ 'on kyang rat+na'i phyag rten phul bas/ dam pa'i chos byar btub⁶³⁾ gsungs/ de nas pho brang rlung 'tshubs⁶⁴⁾ su/⁶⁵⁾ kha che a nan tas lo ts+tsha bgyis te zla ba bzhir dge ba bcu dang / khams bco brgyad dang / rten 'brel bcu gnyis kyi chos bshad pas/ 'dre srin nag po kun ma dga' ste/ pho brang 'phang⁶⁶⁾ thang chus khyer/ lha sa dmar po ri la thog rgyab/ mi nad dang lo nyes byung pa btsan pos chos byas pas lan no/ a tsar+ya phar shugs⁶⁷⁾ mchi nas/ bod 'bangs tsam kha log dam pa'i chos bgyir ma 'tshal/ a tsar+ya khang steng na dar dkar gyi yol ba na/ sgom byed pa la/ rgyal pos spyang slog nas⁶⁸⁾ gser phye bre gang khyer nas sba gsal snang dang/⁶⁹⁾ seng 'go lha lung gzigs⁷⁰⁾ dang/ zhang nya bzang dang/ 'ba' sang shi dang/ snyer stag btsan⁷¹⁾ ldong gzigs dang lnga khrid nas/ a tsar+ya dar gur na bzhugs pa la skor ba byas phyag bzhes nas gser dngul de 'dra ba nub gsum du phul nas/⁷²⁾ bdag skal [A18] ba chung ste bod thams cad nag po la dga' ba'i dus su skyes ste thabs nongs⁷³⁾ na lha chos mi 'grub bar glo bar chud⁷⁴⁾ / a tsar+ya slar rgya gar du gshegs shig /bdag gis⁷⁵⁾ zhang blon thams cad thabs kyis brid la brngan pa byin

56) [mtha' khob] [Bzh A:17.3], [mtha' khob] [Bzh B:18.19, KhG:315.17]。

57) [thang khob] [Bzh A:17.3], [mtha' khor] [Bzh B:18.19]。 [mtha' khob] [KhG:315.17]。

58) [snyel] [Bzh A:17.4, Bzh B:18.20]。

59) [med] [Bzh A:17.5], [mad] [Bzh B:18.21]。

60) [gom yun thung pas lan] [Bzh A:17.5], [gom yun thung bas lan] [Bzh B:18.21], [sgom yun thungs pas ma dran] [KhG:315.18]。

61) [btab bam] [Bzh A:17.5, Bzh B:19.1], [brtags sam] [KhG:315.19]。

62) [rigs] [Bzh A:17.6], [ris] [Bzh B:19.3]。

63) [btug] [Bzh A:17.9], [btub] [Bzh B:19.6]。

64) ['tshub] [Bzh A:17.9], ['tshubs] [Bzh B:19.7]。

65) [Bzh B:19.7] ではシェー [shad] を欠く。

66) ['phang thang] [Bzh A:17.11], [phang thang] [Bzh B:19.9]。

67) [shugs] [Bzh A:17.12, Bzh B:19.11], [spyugs] [KhG:316.6]。

68) [spyang la gnas] [Bzh A:17.14], [skyang la gnas] [Bzh B:19.13], [spyang slog nas] [KhG:316.10]。

69) [Bzh B:19.14] ではシェー [shad] を欠く。

70) [gzig] [Bzh A:17.14], [gzigs] [Bzh B:19.14]。

71) [tsan] [Bzh A:17.15], [btsan] [Bzh B:19.15]。

72) [Bzh B:19.17] ではシェー [shad] を欠く。

73) [nongs] [Bzh A:18.1], [nong] [Bzh B:19.19]。

74) [lha chos mi 'grub du rang glo ba chung] [Bzh A:18.1-2, Bzh B:19.19]。 [lha chos mi 'grub bar glo bar chud] [KhG:316.13]。

75) [gi] [Bzh A:18.2], [gis] [Bzh B:19.20]。

ste/ chos mi bgyi mi rung bar gleng la nga chos byed du btub⁷⁶⁾ 【B20】 ma thag tu spyang 'dren btang ngo zhes zhus/ A tsa r+ya'i zhal nas/ sngon yab mes kyi sku ring⁷⁷⁾ la/ lha klu gdug pa can rnam dam 'og tu ma tshud pas/ bod khams su gnod sbyin gdug pa chos la mi dga' bas ltas ngan des rgyal po'i sku tshe thung ba de las gyur bas/ slad kyis⁷⁸⁾ lha chos bgyi bar 'tshal bas/ lha klu dam 'og tu bstsal⁷⁹⁾ 'tshal/ u rgyan gyi yul na dge slong pad+ma saM b+ha wa zhes bya ba mthu can gcig mchis/ de spyang drangs la mthu dang rdzu 'phrul 'gran chos la 'gran zla byung na gtan tshig⁸⁰⁾ dang 'gran no lnga brgya'i mtha' ma la babs pas bod du mu stegs pa mi 'chi⁸¹⁾ gsung nas gser phye khyor gang bal rje la bsnams nas gzhan btsan po la slar phul nas/ a tsar+ya skrad pa ltar byas nas yar bzhud/ seng 'go lha lung gzigs kyis sngan chad sha mi 'tshal ba'i sdom pa srungs⁸²⁾ pas/ phyis mar mi 'tshal ba'i sdom pa blangs te/ a tsar+ya glang sna gru tshugs su bskyal/ lang 'gro snang ra dang gsal snang gis⁸³⁾/ a tsar+ya bal yul du bskyal te slar pho brang du mchis/

文献略号

KhG (『賢者喜宴』) : dpa' bo gtsug lag phreng ba, *chos 'byung mkhas pa'i dga' ston* (stod cha), wa Na badzra bidyA dpe mdzod khang (Vajra Vidya Institute, Sarnath, Varanasi, India), 2003.

LDZ : shar rdza bkra shis rgyal mtshan, rdo rje rgyal po (ed.), *legs bshad rin po bhe'i gter MDzod*, mi rigs dpe skrun khang (夏察扎西坚『西藏本教源流』民族出版社), 1985.

PCh (『ブトウ宗教史』) : bu ston rin chen grub, rdo rje rgyal po (ed.), *bu ston chos 'byung gsung rab rin po che'i mdzod* [*bde bar gshegs pa'i bstan pa'i gsal byed chos kyi 'byung gnas gsung rab rin po che'i mdzod*], krung go'i bod kyi shes rig dpe skrun khang (布頓仁欽竹著, 多吉杰博編『布頓佛教史』中國藏學出版, 1988.

76) [btug] [*Bzh A*:18.3], [btub] [*Bzh B*:19.21]。

77) [rim] [*Bzh A*:18.4], [ring] [*Bzh B*:20.2, *KhG*:316.17]。

78) [slas kyi] [*Bzh A*:18.6, *Bzh B*:20.4]。

79) [bstsal] [*Bzh A*:18.7, *Bzh B*:20.5], [bstsal] [*KhG*:316.21]。

80) [tshig] [*Bzh A*:18.8], [tshigs] [*Bzh B*:20.7]。

81) [chi] [*Bzh A*:18.9], [mchi] [*Bzh B*:20.9]。

82) [srungs] [*Bzh A*:18.11], [srung] [*Bzh B*:20.11]。

83) [gis] [*Bzh A*:18.12], [gyis] [*Bzh B*:20.13]。